



平成28年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月8日

上場会社名 三協立山株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5932 URL <http://www.st-grp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 清胤
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 吉田 安徳 (TEL) 0766-20-2122
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月8日 配当支払開始予定日 平成28年2月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第2四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第2四半期	167,930	17.6	2,263	△66.1	1,666	△73.2	96	△98.0
27年5月期第2四半期	142,839	1.1	6,670	△12.0	6,209	△12.8	4,841	△22.7

(注) 包括利益 28年5月期第2四半期 △1,071百万円(—%) 27年5月期第2四半期 6,354百万円(△8.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第2四半期	3.06	2.42
27年5月期第2四半期	154.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年5月期第2四半期	273,730	83,435	29.8
27年5月期	270,557	85,148	30.8

(参考) 自己資本 28年5月期第2四半期 81,492百万円 27年5月期 83,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	15.00	—	20.00	35.00
28年5月期	—	15.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	340,000	16.3	5,000	△41.5	4,000	△49.6	1,000	△83.2	31.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年5月期2Q	31,554,629株	27年5月期	31,554,629株
② 期末自己株式数	28年5月期2Q	156,519株	27年5月期	152,579株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年5月期2Q	31,399,888株	27年5月期2Q	31,414,547株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢に改善がみられ、緩やかな回復基調で推移しました。一方、国内の個人消費の本格回復には力強さを欠き、中国や新興国の経済減速の影響などから、依然として先行きの不透明感が高い状況が続いています。

このような状況下、当社グループは、2020年（平成32年）5月期までの経営計画『VISION2020』に基づき、昨年7月に策定した『国内事業の収益体制強化と成長戦略の実現』を基本方針とする新中期経営計画の目標達成に向けて「改装・リフォーム事業の強化」「非建材事業の強化」「海外展開」に引き続き取り組むとともに、コストダウンなど効率化に注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高1,679億30百万円（前年同期比17.6%増）、営業利益22億63百万円（前年同期比66.1%減）、経常利益16億66百万円（前年同期比73.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益96百万円（前年同期比98.0%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

建材事業

建材事業においては、前年度の雪害対応の売上反動減の影響があったものの、新設住宅着工戸数の持ち直しがみられたことなどにより、売上高1,041億22百万円（前年同期比0.2%増）となりました。しかしながら、市場競争の激化や前年度からのアルミ地金の高値影響などにより、セグメント利益17億59百万円（前年同期比52.3%減）となりました。

マテリアル事業

マテリアル事業においては、輸送・一般機械分野の需要取り込みや、平成26年9月に子会社化した三協サーモテック株式会社の連結売上などにより、売上高221億96百万円（前年同期比6.5%増）となりましたが、電気機器分野の需要減少などにより、セグメント利益16億90百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

商業施設事業

商業施設事業においては、小売業の新規出店・改装需要に対する提案営業による受注拡大などに注力しましたが、コンビニエンスストアや家電量販店の投資抑制傾向による需要減少などにより、売上高173億61百万円（前年同期比3.5%減）、セグメント利益8億3百万円（前年同期比38.4%減）となりました。

国際事業

国際事業においては、輸送分野の需要や形材分野の需要取り込みを推し進めましたが、欧州の景気停滞やタイにおける景気減速の影響などにより、売上高241億79百万円、セグメント損失19億48百万円（前年同期は31百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、2,737億30百万円となり、前連結会計年度末に比べて31億73百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が31億8百万円増加したことが主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて48億86百万円増加し、1,902億95百万円となりました。これは、短期借入金が128億98百万円減少したものの、転換社債型新株予約権付社債が150億65百万円、長期借入金が24億65百万円、それぞれ増加したことが主な要因であります。また純資産は834億35百万円、自己資本比率は29.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成27年7月10日に公表いたしました平成28年5月期の通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成27年12月25日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社において、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,901	34,010
受取手形及び売掛金	58,389	58,021
商品及び製品	13,269	13,770
仕掛品	18,046	18,648
原材料及び貯蔵品	9,860	8,774
その他	7,489	7,591
貸倒引当金	△2,650	△2,352
流動資産合計	135,306	138,462
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,725	27,002
土地	54,510	53,840
その他(純額)	21,840	23,545
有形固定資産合計	104,075	104,388
無形固定資産		
のれん	9,214	9,437
その他	1,750	1,889
無形固定資産合計	10,965	11,326
投資その他の資産		
投資有価証券	17,519	16,937
退職給付に係る資産	24	25
その他	3,916	3,929
貸倒引当金	△1,251	△1,340
投資その他の資産合計	20,209	19,552
固定資産合計	135,250	135,268
資産合計	270,557	273,730

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,368	56,658
短期借入金	38,628	25,729
1年内償還予定の社債	120	-
1年内返済予定の長期借入金	11,896	12,190
未払法人税等	675	1,613
賞与引当金	389	480
引当金	14	27
その他	25,810	27,310
流動負債合計	135,902	124,010
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	-	15,065
長期借入金	18,442	20,908
役員退職慰労引当金	8	9
製品改修引当金	1,995	1,759
退職給付に係る負債	18,410	17,600
資産除去債務	445	439
その他	10,202	10,501
固定負債合計	49,505	66,284
負債合計	185,408	190,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	33,007	33,007
利益剰余金	30,804	30,207
自己株式	△188	△196
株主資本合計	78,623	78,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,976	3,513
繰延ヘッジ損益	△0	△215
土地再評価差額金	3,406	3,469
為替換算調整勘定	724	△128
退職給付に係る調整累計額	△3,359	△3,165
その他の包括利益累計額合計	4,747	3,473
非支配株主持分	1,777	1,943
純資産合計	85,148	83,435
負債純資産合計	270,557	273,730

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
売上高	142,839	167,930
売上原価	107,279	132,628
売上総利益	35,560	35,301
販売費及び一般管理費	28,889	33,038
営業利益	6,670	2,263
営業外収益		
受取利息	15	25
受取配当金	125	134
スクラップ売却益	179	236
持分法による投資利益	158	99
その他	368	496
営業外収益合計	846	993
営業外費用		
支払利息	452	396
売上割引	339	477
為替差損	70	412
その他	445	304
営業外費用合計	1,307	1,589
経常利益	6,209	1,666
特別利益		
固定資産売却益	17	16
投資有価証券売却益	193	13
補助金収入	254	-
確定拠出年金制度への移行に伴う利益	-	56
その他	-	1
特別利益合計	465	87
特別損失		
固定資産売却損	35	8
固定資産除却損	63	124
確定拠出年金制度への移行に伴う損失	15	-
固定資産圧縮損	176	-
その他	0	4
特別損失合計	292	137
税金等調整前四半期純利益	6,383	1,616
法人税等	1,476	1,405
四半期純利益	4,906	210
非支配株主に帰属する四半期純利益	65	114
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,841	96

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
四半期純利益	4,906	210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	699	△466
繰延ヘッジ損益	20	△214
土地再評価差額金	1	—
為替換算調整勘定	245	△798
退職給付に係る調整額	473	192
持分法適用会社に対する持分相当額	6	5
その他の包括利益合計	1,447	△1,281
四半期包括利益	6,354	△1,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,288	△1,240
非支配株主に係る四半期包括利益	65	169

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,383	1,616
減価償却費	2,764	3,676
のれん償却額	64	570
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△664	△205
賞与引当金の増減額(△は減少)	49	95
確定拠出年金制度への移行に伴う損益(△は益)	15	△56
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△175	△835
製品改修引当金の増減額(△は減少)	△262	△235
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△2	△1
受取利息及び受取配当金	△140	△160
支払利息	452	396
持分法による投資損益(△は益)	△158	△99
投資有価証券売却損益(△は益)	△193	△13
固定資産除売却損益(△は益)	81	117
固定資産圧縮損	176	—
売上債権の増減額(△は増加)	3,897	344
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,708	△67
仕入債務の増減額(△は減少)	1,550	△1,584
補助金収入	△254	—
その他の負債の増減額(△は減少)	1,187	1,853
その他	△243	319
小計	7,819	5,729
利息及び配当金の受取額	156	172
利息の支払額	△470	△361
法人税等の支払額	△1,513	△301
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,992	5,239
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△636	△851
定期預金の払戻による収入	520	647
有形固定資産の取得による支出	△2,869	△5,344
有形固定資産の売却による収入	276	682
投資有価証券の取得による支出	△1,253	△9
投資有価証券の売却による収入	251	13
貸付けによる支出	△92	—
貸付金の回収による収入	27	45
補助金収入	170	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,176	△531
事業譲受による支出	—	△266
その他の支出	△342	△476
その他の収入	6	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,118	△6,088

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,328	△12,897
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△139	△323
長期借入れによる収入	6,639	9,380
長期借入金の返済による支出	△7,529	△6,477
社債の発行による収入	—	15,075
社債の償還による支出	△205	△120
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△13	△7
配当金の支払額	△781	△633
非支配株主への配当金の支払額	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△705	3,991
現金及び現金同等物に係る換算差額	118	△232
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	286	2,909
現金及び現金同等物の期首残高	30,737	30,111
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	260	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,284	33,020

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客に対する 売上高	103,934	20,849	17,983	—	142,767	72	142,839	—	142,839
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,816	16,463	78	—	19,358	—	19,358	△19,358	—
計	106,751	37,312	18,061	—	162,125	72	162,198	△19,358	142,839
セグメント利益又は 損失(△)	3,685	1,765	1,304	△31	6,724	50	6,775	△104	6,670

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△104百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は、主として親会社の総務部、人事部、財務部など、管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客に対する 売上高	104,122	22,196	17,361	24,179	167,859	70	167,930	—	167,930
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,763	15,457	59	3	18,283	—	18,283	△18,283	—
計	106,885	37,653	17,420	24,183	186,143	70	186,213	△18,283	167,930
セグメント利益又は 損失(△)	1,759	1,690	803	△1,948	2,305	48	2,353	△90	2,263

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△90百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は、主として親会社の総務部、人事部、財務部など、管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「国際事業」セグメントにおいて、前連結会計年度に当社の子会社であるSankyo Tateyama Europe BVBAを通じて取得した、ST Extruded Products Germany GmbH等の取得原価の配分について、暫定的な会計処理によりのをれんを計上しておりました。

第1四半期連結会計期間の追加支払額に基づく取得原価の価格調整によるのれんの修正額は4.4百万ユーロ(607百万円)であります。

なお、当第2四半期連結累計期間においても取得原価の配分が完了していないため、引き続き暫定的な会計処理を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、「建材事業」「マテリアル事業」「商業施設事業」に加えて、「国際事業」の区分を新設し、これら4つを報告セグメントとしております。

また、SANKYO TATEYAMA ALLOY (THAILAND) CO., LTD. (旧社名：SANKYO TATEYAMA (THAILAND) CO., LTD.) は、これまで「マテリアル事業」に区分しておりましたが、「国際事業」の新設により、前連結会計年度より「国際事業」に区分の変更をしております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分及び測定方法に基づき作成したものを開示しております。